

ようこそ、恵庭へ!

柏小にも新しい先生が二人、赴任されました。前は留萌市内の中学校で勤務。小学校は柏小が初めてだそうです。

Q 恵庭着任の感想は?

A 5年前に恵庭に引越してきました。生まれて育ったのが長沼町ということもあり、小さいころから恵庭にもよく来ていました。住みやすいまちだと感じています。



Q 柏小児童の印象は?

A 皆さん明るく表情が良いので、話すのが楽しいです。そしてとても礼儀正しいと思います。

小学生と接することは今まであまりなかったのですが、小学生ってこんなにしつかりしているのかと驚きました。特に、6年生の表情は引き締まって、リーダーの自覚をもって過ごしているのだと感じました。

Q 頑張りたいことは? 私の仕事は、皆さん

がより学習に励めるようお手伝いをするつもりです。皆さんのためのできることをどんどんやっていきたいと思っています。

鬼澤麻紀先生は夕張のぞみ小学校の閉校に伴い柏小に赴任されました。

Q 恵庭着任の感想は?

A 第一印象：車やお店が多く、岩見沢や夕張よりも都会だなあと感じました。

現在：家庭訪問や校外学習で地域を歩いてみて、住宅街の中に公園やすてきなお庭のお宅がたくさんあることに気がつきました。どちらを向いても緑いっぱい、とっても気持ちの良いところだなあと感じています。その地域の人たちのオープンであたたかな人柄が表れているように感じます。

Q 子どもの印象は?

A 4回目の3年生担任ですが、これまでのどの3年生よりも『真面目で素直』という印象。4月は、おとなしい子が多いのかなと思っています。

が、わたしを給食や遊びに誘ってくれ、子どもらしい活発な面もたくさん見せてくれています。



3月までは全校児童54人の学校で、柏小のような大規模校は初めて。なかなか慣れず、まだ様子はよくわかりませんが、集会等を行進する高学年のリーダーシップはすばらしいと感じています。

Q 頑張りたいことは?

A 研修会で市立図書館を見学しました。子どもの頃から本が好きで、毎晩の読み聞かせが日課になつていてわたしのとなりに『読書のまち 恵庭』は最高の場所です。すばらしく整備された学校図書館をフルに活用して、子どもたちといっしょにどっふりと本の世界にひたりたいと思っています。

Q 読書を通じて、目をキラキラさせて自分の夢を語る子になるように、柏つ子のよりよい育ちに、積極的に関わっていきます。どうぞよろしくお願いします。

第3回 カメラマン湯山繁の写真教室

●レッスン3 「毛が黒い子はむずかしい?」



今回は、体や顔が黒い子の写真を撮ってみましょう。実は写真教室などで一番質問されるのが『体(顔)の黒い子の撮り方』なのです。とくに顔が黒いと目がどこにあるのかわからない写真になってしまいがちです。そんな時、ちよつとした工夫で目がキラッと光るイキイキとした写真が撮れるんです。

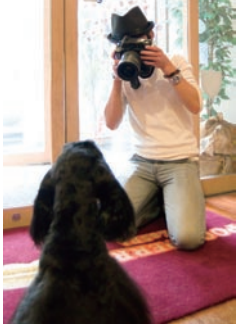


まず、ワンちゃん(ネコちゃん)を窓から少し離れたところに連れていき、窓に向かってオスワリをさせます。

そして自分は、窓を背にして写真を撮ります。そうすると窓からの明るさが、犬の目に映ってキラッと光るのです。なるべく顔のアップで撮ると効果がはつきりとわかります。

後からデジカメの拡大操作で、目の黒いところをよよく観察すると、黒目に景色が写っています。目がガラスのような役割をして、窓の明かりや景色を反射させているのです。

デジカメの拡大操作で、撮った画像の目を拡大してみてください。犬の目に自分の姿も入っているはず。フラッシュは使わない方がいいですよ。



窓に向かってすわるころがポイントですね。

特別編 運動会で写真をうまく撮るコツ!

運動会シーズン! わが子が一生懸命に走る姿をバッチリ撮りたいけれど、なかなかうまく撮れないという方も多いのではないのでしょうか。今回は走っているところを撮るコツをご紹介します。特別編!

徒競走やリレーなど走る競技は、小学生とはいえかなりスピードが出てくるものです。わが子が走っている姿を見ると焦ってしまい、結局1枚も撮れずに終わってしまったら、ピン트가外れた写真しか撮れなかつたりします。

失敗が少ない方法は、あらかじめ写真を撮る場所を決めておくことです。「ここで撮りたい」と思った場所にピンントを合わせてカメラを構えて、走ってくるのをひたすら待ちます。構えたところにわが子がやってきたらシャッターを押します。連写が出来るカメラはやり失敗が少ないです。

コンパクトカメラの場合は少し難しいです。なぜかというと、シャッターを押してから実際写真が撮れるまでに少し時間差があるのです。「ここだ!」と思ってシャッターを押しても、とつくに通り過ぎていて足しか写っていないなかつたりします。この時間差を頭に入れて、撮りたい場所の少し前にはシャッターを押さないとなりません。感覚的なものなので少し練習が必要です。



もう一つの方法は走る子供をカメラで追いつながら写真を撮る方法です。これは簡単そうではなかながうまく撮るのが難しいですが、一つの方法をご紹介します。ビデオカメラで撮影する感じで、走る子供を追いながらシャッターを押します。肝心なのはシャッターを押したあと、すぐにカメラをおろさないことです。最低でも1秒、2秒は同じ動きを続けます。これは先ほども言ったよ

うにシャッターを押してから実際に写真が撮れるまでの時間差があるためです。本番にいきなりではうまく撮れないかもしれないので、わが子の出場までよその子で練習してくださいね。

カメラの設定はスポーツモードにするか、マニユアルで設定する方は、シャッター速度1000分の1をおすすめします。250分の1だと走っている時はブレてしまうことが多いです。500分の1でもたまにブレてしまいます。気をつけましょう。わが子の一生懸命走る姿を、できるだけかつこよく撮られることをお祈りしています。

えにわ子ども新聞を

かたりすと 上森裕子 ナレーター、MC 090-4870-4094

えにわ子ども新聞を応援しています。

すずき眼科 恵庭市柏陽町3丁目2番8 321-6666